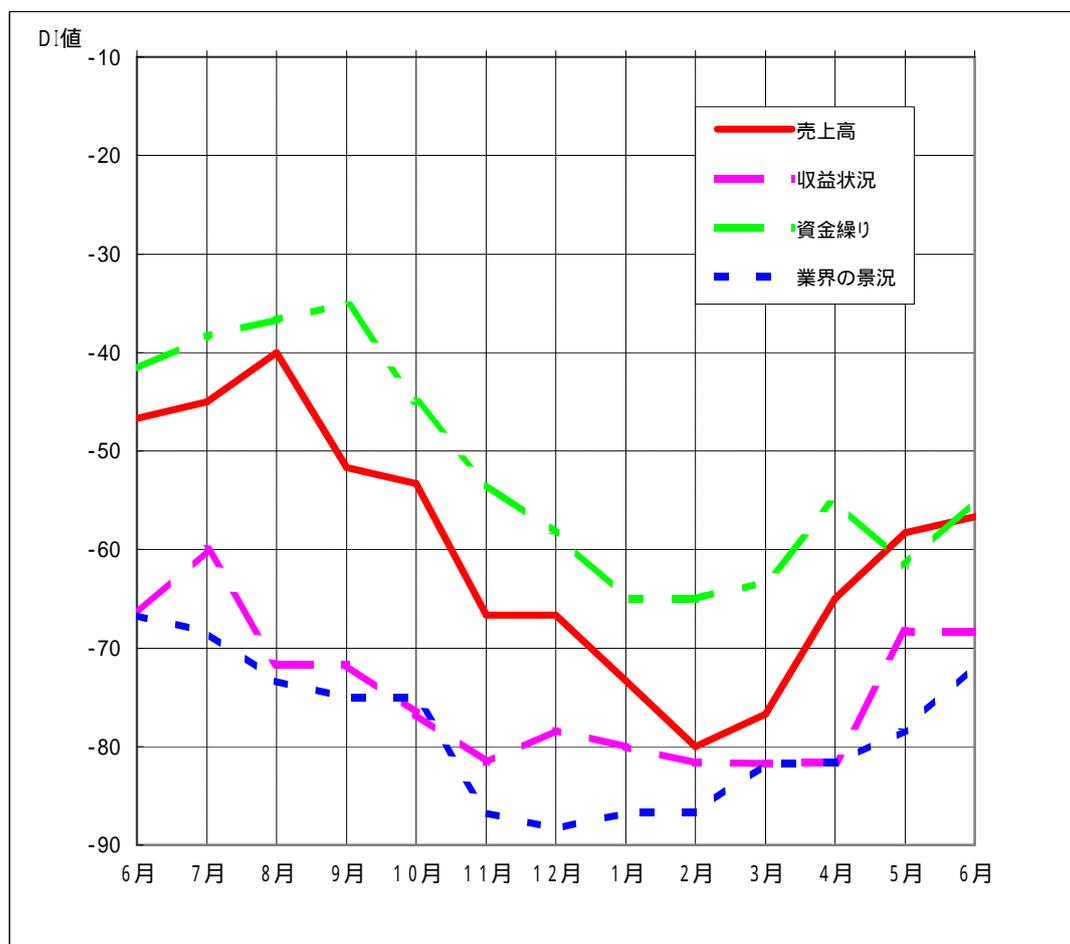


業界の景気動向(前年同月比)全業種DI値 平成20年6月～平成21年6月

単位:ポイント



	H20						H21						
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
売上高	-46.7	-45.0	-40.0	-51.7	-53.3	-66.7	-66.7	-73.3	-80.0	-76.7	-65.0	-58.3	-56.7
収益状況	-66.7	-60.0	-71.7	-71.7	-76.7	-81.7	-78.3	-80.0	-81.7	-81.7	-81.7	-68.3	-68.3
資金繰り	-41.7	-38.3	-36.7	-35.0	-45.0	-53.3	-58.3	-65.0	-65.0	-63.3	-55.0	-61.7	-55.0
業界の景況	-66.7	-68.3	-73.3	-75.0	-75.0	-86.7	-88.3	-86.7	-86.7	-81.7	-81.7	-78.3	-71.7

6月のDI値は昨年と比べ売上高DI値で - 10ポイント悪化で - 56.7、収益状況DI値で - 1.6ポイント悪化で - 68.3、資金繰りDI値で - 13.3ポイント悪化で - 55.0、業界の景況DI値で - 5ポイント悪化で - 71.7と主要項目のDI値は全て悪化した。しかし前月比で見ると、収益状況DI値が先月と同値となったが他の主要DI値が上向きに転じ、なかでも売上高DI値は本年2月を底に3月以降上向き状態にある。

組合の特記事項からは、製造業においては在庫調整の関係から一部受注の回復が見られるものの、総じて受注が少ない状況が続いており、多くの企業が操業に苦慮しているようだ。非製造業では一部業界で減少傾向に歯止めがかかった所もあるようであるが、ほとんどの業界では、受注の減少が止まらない様子である。